月刊 かわごえ環境ネット

2016年11月号 No.121　　http://kawagoekankyo.net

2016 年 11 月 10 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

12 月 23 日は歳末まち美化活動

今年も年末が迫ってきました。毎年恒例の中心市街地「歳末まち美化活動」は、12 月 23 日（金）の天皇誕生日です。（詳細 10 面）

「かわごえ環境活動報告集」投稿者募集

2 月 25 日（土）に開催されるかわごえ環境フォーラム午前の部「環境活動報告会」に合わせて「かわごえ環境活動報告集」を発行します。この冊子の投稿募集を 11 月 28 日（月）までの申込期限で行っています。奮ってご応募ください。（詳細 10 面）

エコドライブ普及推進活動

環境にやさしい車の運転を身につける「エコドライブ」を、川越市とかわごえ環境ネットでは協働して推進しています。11 月 20 日（日）9:30-16:00 に「かわごえ産業フェスタ」が開催されるウェスタ川越交流広場において、エコドライブシミュレーターを使用したふんわりアクセル、速度変動の少ない運転、早めのアクセルオフの効果を参加者に体験していただくエコドライブ普及推進活動を実施します。お気軽にお試しください。（詳細は 10 面）

目次

コラム　私のエコ体験（5）来季用緑のカーテン育成始動 2
川越の自然を訪ねて（48）川越で遭遇した豊かな動植物 3
報告　かわごえ環境ネットの活動（1 題） 3-4
会員・流域の活動、後援行事（4 題） 4-8
理事会・専門委員会（4 題） 8-10
予告　かわごえ環境ネットの主催・出展・後援行事（6 題） 10-11
会員・関係団体の主催・関連行事（10 件） 11-14
広報委員会からのおしらせ 14-15
イベントカレンダー（11 月 13 日～12 月 28 日） 16

【コラム】私のエコ体験（5）来季用緑のカーテン育成始動

7 月の挿し芽のもの 30cm に成長

8 月挿し芽のもの 15cm に成長

9 月挿し芽で土植えを待つもの

今年は、来年の緑のカーテンの準備に 7 月から取りかかりました。季節外れの感もしますが緑のカーテンにパッションフルーツを利用するには遅くとも 9 月から取り組まないと間に合いません。パッションフルーツで緑のカーテンに取り組んで早 6 年が経過しようとしています。ゴーヤから始まり、スイカ、アサガオなどツルもので色々と試しましたが一長一短あり迷っていた時にパッションフルーツに出会いました。

昨年は市との協働での緑のカーテン普及活動の決定が遅れて、苗の育成にも力が入らず、水やりが面倒なので苗の鉢を水につけて数か月経ち 3 月になり生育が遅いので調べたら根腐れが発生していました。

11 月の時点では 150 鉢順調に育っていましたので、5 月の緑のカーテン講座は 90 名募集と聞き安心していましたが、結果は 60 鉢しか出せず不足分は急遽、市の方で調達してもらい開催となりました。

この失敗を踏まえて今年は初心に戻り、再テストも兼ねて 7 月、8 月、9 月と苗の挿し芽をして経過を見る事にしました。現状は 7 月のものは 10 月 9 日現在 30cm くらい新芽が伸び、8 月のものが 15cm くらいに育っています。

9 月挿し芽した分はまだ水挿しの状態で 40 本くらい 10 月末頃、土植えにする予定です。

今回は通常のパッションフルーツ 180 鉢、果実の収穫用、（黄色の大玉が成る種類）20 鉢トウタル 200 鉢を育てています。

育て方も昨年のような失敗はしないように、水やりの方法を工夫して育てています。今年は試しに東南側の緑のカーテンは黄色の果実収穫用を採用してみました。結果として緑のカーテンは通常のパッションフルーツが最適のようです。果実用のパッションフルーツは、寒さに通常のよりさらに弱く、真夏にならないと伸びが遅く緑のカーテンには不向きかなと感じました。

この地方で育てるなら鉢植えが最適のようで、冬は家の中に入れれば 12 月ごろに大きな黄色の果実の収穫が見込めジャム作りが楽しめます（実が大きく果肉が多く取れ色鮮やかです）。

頒布会やイベントなどで緑のカーテンとしてパッションフルーツもみなさんに認知されて電話で育て方などの質問等が多数来るようになり励みになっています。

（井口吉三郎）

7 月から 4 月まで室内で管理

【コラム】川越の自然を訪ねて（No.48）「川越で遭遇した豊かな動植物」

川越～上尾間　開平橋上より北側を望む

伊佐沼

次のオリンピックでは、川越市がゴルフ会場のホスト市の予定となっている。都心に近く恵まれた地に誇れるコースが点在している。

開平橋の下に荒川と入間川に挟まる、R ゴルフクラブは、2 年前のみどりの日に環境大臣賞の栄誉を受けたことは、市民は意外と知らない。その受賞内容は、「いきもの環境づくり・みどり部門」であり、ゴルフ場として初受賞であった。同コースで幸い、私も定年後プレイを続けて、四季を通じて直接に遭遇し、印象に残った動植物を記してみよう。

動物は野兎、川獺（かわうそ）、もぐら、亀、縞蛇、とかげ、鯉、泥鰌（どじょう）、蛙、蝉、蝶。野鳥は雉子、鴨の親子、雁の群れ、白鷺、カラス、鶯、大鷹、川蝉、燕、雀、雲雀、鶺鴒（せきれい）。植物（針葉樹）は桧、椹（さわら）、黒松、唐松、ヒマラヤ杉、樅（もみ）、メタセコイア、銀杏。広葉樹は桜（染井吉野、枝垂れ）、小楢、楺（くぬぎ）、栗、欅、榎、柏、馬手葉椎（まてばしい）、樟の木、榛の木、胡桃、白樺、柳、犬四手、辛夷、合歓木、ニセアカシア、百日紅、山法師、令法（りょうぶ）、花水木、金木犀、泰山木、寒椿、梅、蘇鉄、棕櫚、椰子など。これら自然を詠んだ句集も忘れがたい。

さて、4 年後の川越のコースでは、荒涼として殺伐としたコースではなくて、豊かな緑の森と花の溢れる場所で小鳥や蝉が啼き、フェアウェイを鴨の親子が歩き、また、栗鼠などが木陰で戯れるような会場に、ぜひしたいものである。最後に願望を一つ記せば、川越のオリンピックを後世に伝えるためにも「オリンピック記念公園」を我がかわごえ環境ネットの力を原動力として、ぜひ実現したいものである。

その林内には金銀銅のメダリストによる記念樹の植樹も残したい。考えると夢も大きくふくらむばかりである。　（鶴巻史朗）

【報告】かわごえ環境ネットの活動

秋のチョウ観察

多くの目は自然の観察を豊かにします。

10 月 19 日（水）安比奈親水公園で秋のチョウを観察しました。初めての参加者を加えて 9 名で楽しくにぎやかに公園内を歩いてチョウとトンボを探しました。期待したほどの晴れになりませんでしたが、多くのチョウを見ることができました。アゲハチョウ科は飛んでいませんでしたが、シジミチョウ、タテハチョウ、シロチョウ科は多く見つけました。

トンボでは、アキアカネ、ハグロトンボ、ミヤマアカネが観察できました。

観察できたチョウはモンキチョウ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、アカボシゴマダラ、ツマグロヒョウモン、キタキチョウ、ヒメアカタテハ、

ウラナミシジミ、ウラギンシジミ、イチモンジセセリ、モンシロチョウの 11 種類。この他に、ツチイナゴ、フクラスズメ（幼虫）、オオカマキリを見つけました。　（過昌司）

チョウ、トンボの観察風景

【報告】会員・流域の活動、後援行事

「生きものを育む田んぼプロジェクト」が国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）の第 9 弾認定連携事業となりました。

かわごえ里山イニシアチブ

授賞式の様子 1

授賞式の様子 2

10 月 3 日（土）に環境省の報道・発表により、かわごえ里山イニシアチブ.の「生きものを育む田んぼプロジェクト」が国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）の認定連携事業第 9 弾になることが発表されました。

環境省：国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）認定連携事業（第 9 弾）について

http://www.env.go.jp/press/103069.html

10 月 20 日（木）にぎふ清流文化プラザにおいて第 6 回生物多様性全国ミーティングが開催され、認定連携事業第 9 弾の紹介と表彰式が行われました。

認定のポイントは、次のような 3 点です。

多様な主体の連携

農家、自治体、大学、NPO、地域の住民が共同しプロジェクトを継続しています。

取り組みの重要性

農家や地域団体、消費者が協力した田んぼでの生物多様性有機農法の実施や調査活動、田んぼの価値の普及啓発を実施しています。また付加価値の高いマコモも栽培することで、地元食材のブランド化による事業の継続性向上の工夫も見られます。

取り組みの広報の効果

非農家（消費者）も交えた活動で、参加者の増加による事業のさらなる向上が期待されるほか、都市近辺での消費者も交えた持続可能な稲作農業のモデル事業となることが期待されます。

国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）は、2011 年から 2020 年までの国連の生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）で採択された生物多様性保全のための新たな世界目標であ

る「愛知目標」の達成に貢献するため、国際社会のあらゆるセクターと連携して生物多様性の問題に取り組むために設立されました。

このため、UNDB-J が推奨する連携事業を認定し積極的な広報活動を行っています。

かわごえ里山イニシアチブでは、この認定を機に生物多様性向上の新たな始まりとして、20 20 年に向けた活動を拡大していきます。みなさまのご支援とご協力をお願いいたします。

（増田純一）

霞ケ関西小学校川遊び支援

全員集合

ゆったりと

数年続いていた 5 年生の川遊びが一昨年途絶え、今年 4 年生の川遊びが復活しました。理由は分かりませんが、復活したことを頼もしいことと受け止め、会員各位の賛同を得て、支援活動を行いました。

会員 6 名がしっかり参加し、午前 11 時から魚類捕獲等準備し、午後 1 時 15 分の現地への来場を待ち 2 時 45 分まで、子供たちがタップリと遊べるように支援をしていただきました。

南小畔親水クラブ

手をつないでおおはしゃぎ

何か獲れたかな

1.事前勉強会

川に関しての知識を得るため、9 月 27 日（火）午前に 45 分授業を行い、水の循環、川と河、埼玉県の川の様子、川の国、埼玉のいわれ、昔の川と今の違い、川遊び時の注意事項等、川遊びに関する基本的な知識の勉強会を行いました。

2.川遊び

10 月 6 日（木）午後に行いましたが、全くラッキーな日和となりました。当日は珍しく 30℃を超える真夏日で、前日は雨模様、翌日は寒い

1 日で、本当に恵まれた日になりました。

子供たちは、びしょ濡れになってはしゃいでいました。学校からは、1km ほど離れていますが、場所は県の水辺 100 選に選ばれて工事したところで､河南親水公園と称している場所です。

瀬と淵があり変化に富んでいて川遊びには適した場所ですが、普段はほとんど使われていません。我々で時々整備していますが、もう少し活性化できないものかと悩んでいます。

4 年生は 100 名ほどで、3 クラスあり、3 班に分かれて 3 か所で遊びました。

我々6 名は､2 名ずつ 3 班に付き添い、事故のないよう監視しました。上流は、ほぼ直線で穏やかな流れで、水深も 40cm ほどのゆったり遊べるところで、中流は曲線部で、左岸は深く、右岸で遊ぶようにしました。

下流は石積みで落差もあり魚道のようなところで、急流のところは、一人で歩かず、2 人で手をつないで遊ぶように伝えました。

3 か所を 20 分で交代し、それぞれの場所で体験できるようにしました。ほとんどの生徒は下半身をびしょ濡れ状態ではしゃいでいました。おそらくこのような体験は記憶に残るのではないかと思っています。

4 年生といえば、小学校でも伸び盛りの年代であり、勉強にいそしむ中で、このような機会を作られた学校側の計らいに、私としては、よい機会を作られたと感動しています。

仲間には、しっかりと支援していただき、無事終了したことに感謝しています。

（代表　原嶋昇治）

2016 アースデイ・イン・川越　立門前　報告

蓮馨寺入口の横幕

太陽光とシャボン玉

中庭の展示と生活クラブ生協

熊野神社の EM 野菜

旧川越織物市場わくわく体験

初雁賞受賞者の写真展示

18 回目を迎えた「アースデイ・イン・川越」は、10 月 2 日（日）に蓮馨寺を中心に開かれました。当日は晴天に恵まれ、主会場の蓮馨寺を中心に、熊野神社、旧川越織物市場などで開かれました。例年参加している「川越の伝統の職人の技を守る蔵の会」が、9 月の別のイベント主催のため不参加となりました。しかし、食品ロスからフードドライブ、フードバンクと、市民の関心が高まってきた問題に取り組み「もったいないからありがとうへ」を合言葉に、関係者の努力で旧川越織物市場も盛り上がりました。第 1 回からプログラムに使われている､“地球を囲むこどもの連帯の姿”にふさわしい“こどもへの愛”のメッセージが込められた会場でした。

蓮馨寺の入り口では、太陽光を利用したシャボン玉やおもちゃの電車などを囲む子供の歓声、いもの子作業所の IMO 楽団の演奏と盛り上がりました。講堂内は川越環境保全連絡協議会、埼玉県ユニセフ協会、東洋大学地域活性化研究所による昭和の街などの活性化へのアイディア、笠原さんと加藤さんの野鳥のすばらしい写真などが展示されました。中庭は、いつものフェアトレードの川越市国際ボランティア“kerria”、生活クラブ生協は小型テントを張り、埼玉県地球温暖化防止活動推進センター、川越に事務所のある荒川上流河川事務所と新河岸川を所管する荒川下流河川事務所が総合治水と環境へのパネル展示をしました。

NPO 法人ネットワーク「地球村」川越や西埼玉温暖化対策ネットワーク、新河岸川広域景観づくり連絡会、クリーン&ハートフル川越、調節池を愛する会などが、ごみ問題や川の景観展示をし、市民への活動協力を呼びかけました。

特別企画の「昭和・大正の街らしさを見つけるウォークラリー」は昨年に続き行われました。

本堂前の桜の木の下では、YMCA や芝浦工大の留学生の「故郷の情景写真」、自立の家などの難民支援、東日本大震災救援のためのバザーやフリーマーケットなどが開かれました。

道路を隔てた熊野神社境内では、埼玉県の西部環境管理事務所、川越県土整備事務所の河川関係、川越農林振興センターの事業 PR のパネル展示、有機野菜の EM 青葉の会、NPO 法人 EM ネット埼京の出展、NPO 法人地球足もみ健康法実践普及協会、雀会のお囃子演奏もありにぎわいました。

旧川越織物市場は、今年初めて企画された「福祉のわくわく体験ゾーン」として、食品ロス、フードドライブ、フードバンク、こども食堂などに関心の深い人らが県内各地から参加しました。朝日新聞が埼玉版に案内記事を掲載、高校の新聞部や福祉関係者が幅広く参加しました。入口に初雁賞受賞者の写真、あいアイ美術館の作品も展示された“愛の広場”に。（武田侃蔵）

「昭和の街」のツアー&ワークショップ、なつかし写真館

東洋大学地域活性化研究所（小瀬研究室）

3 年目の開催となった 9 月 10 日（土）の「昭和の街の感謝祭」に協力する形で「昭和の街」のツアー&ワークショップと「なつかし写真館」を会場内で開催しました。また、10 月 2 日（日）の「2016 アースデイ・イン・川越 立門前」においても同様のイベントを開催しました。

川越といえば昔から「小江戸」と呼ばれているように江戸の文化や町並みが息づく街として有名ですが、長らく商業や娯楽の中心として栄えた蓮馨寺門前の町並みにおいて、1933（昭和 8)年の中央通りの開通に伴う市街地の拡張によって、昭和初期のモダンな建物が立ち並ぶ町並みが誕生しました。このエリアを「昭和の街」と称し、町並みを保全しながら活性化を図ろうとしているエリア内の 3 つの商店会で構成される「川越中央通り「昭和の街」を楽しく賑やかなまちにする会」が活動を行っています。

東洋大学地域活性化研究所では、町並みの魅力を発見し、情報を共有することで、80 年以上が経過した町並み保全の機運を高め、街の活性化に協力しようと活動しています。

ツアー&ワークショップでは、9 月 10 日（土）においては東西の立門前通りに 5 名、南北の中央通りに 13 名が参加してツアーを実施し、参加者が魅力的だと思った 3 点を Instagram に投稿してハッシュタグ（#昭和の街の感謝祭）で情報を共有しました。また、10 月 2 日（日）においては 8 名が参加し、立門前通り、大正浪漫夢通り、中央通りを巡回するルートを設定し、大正浪漫夢通りの昭和の街より古い町並みと対比しながら「#アースデイ川越」で同様に 3 枚の写真を投稿してもらいました。

「なつかし写真館」では、大正期の蓮馨寺から最近までの写真と定点比較写真を掲示して、この町並みに関する思い出や感想などを模造紙に自由に記入、9 月 10 日では 23 名、10 月 2 日では 29 名の方々に参加していただきました。

この行事に先立ってさまざまな資料を閲覧しましたが、昭和の初期に作られた蓮馨寺門前の町並みが、相当力を入れて作られたのではないかということがわかり、改めてこの町並みの潜在的な魅力を実感した次第です。

自然環境や生活における環境配慮を中心に活動してきているかわごえ環境ネットですが、第三次川越市環境基本計画には大施策に「歴史と文化を生かした地域づくり」があります。川越の環境の特徴として、自然環境も都市環境も古いものを大切にして生かすことをみんなで考えてみませんか。　（小瀬博之）

9 月 10 日の「昭和の街」ツアー

9 月 10 日川越名店街の電照看板発見

9 月 10 日「昭和の街」なつかし写真館

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

第 7 回理事会が 10 月 19 日（水）14:30-16:10 に出席理事 10 名（＋委任 2 名）にて、それに先立ち第 7 回事業運営委員会が同日 13:00-14:30 に出席者 7 名にて、どちらも川越市役所分室 3 階 B 会議室において開催されました。主な内容は次のとおりです。

①2 月 25 日（土）に開催されるかわごえ環境フォーラムについて、投稿・発表者募集の内容、協賛依頼、午後の部の基調講演、「かわごえカフェ」等の内容について確認しました。

②公益財団法人都市緑化機構第 36 回「緑の都市賞」において、かわごえ環境ネット自然環境部会の「（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全活動」が奨励賞を受賞し、11 月 11 日の授賞式出席について検討しました。

③（仮称）川越市環境行動計画の作成について、現在の進捗と今後のスケジュールについての確認がありました。

④後援事業である 10 月 2 日の「2016 アースデイ・イン・川越 立門前」について、参加者総計が 1,100 名であったことなどの実施報告がありました。

⑤10 月 15・16 日に開催された「川越まつり会場クリーン活動」について、15 日は 45 名、16 日は 35 名、計 80 名の参加があったとの報告がありました。

⑦個人 2 名の入会があり、現在の会員数は個人 118、民間団体 29、事業者 24、行政 1 の計 172 会員となりました。

（小瀬博之）

社会環境部会

社会環境部会 10 月例会は 10 月 14 日（金）福田ビル 3 階会議室において 7 名の出席のもとに開催されました。

1. 報告事項

次の 2 つの事項について報告がありました。

①部会代表から 9 月 28 日の理事会において、来

年2月25日に開催されるかわごえ環境フォーラムに合わせて作成する活動報告書、川越まつりの際の美化活動等について協議しました。
②武田氏から10月2日に開催したアースデイ行事について、多数の方の協力へのお礼と天候に恵まれて予定どおり開催できました。来年は旧川越織物市場が使用できないため会場の確保に工夫を要すること等が報告されました。

2. 協議事項

次の各活動について協議しました。
①10 月 15、16 日の川越まつり会場美化活動の準備状況と対応について協議しました。
②11 月 5 日開催の「環境講演会」の準備状況について説明がありました。懸案であったプロジェクター等の器材については環境政策課の担当者のご尽力で確保できることとなり、資料の印刷、アンケートの設問作成、その他の検討事項については 23 日に改めて協議することとしました。
③エコドライブ講習活動については、11 月 5 日につばさ館で開催されるつばさ館まつり、11 月 20 日にウェスタで開催される産業フェスタの会場で川越市との協働活動として実施することとし、担当者を配置することとしました。11 月例会の進行及び月刊紙の「わたしのエコ体験」コラムへの投稿は井口さんが当たります。(社会環境部会代表　板野徹)

自然環境部会

10 月例会は 14 日（金）福田ビル 3 階会議室にて 7 名の参加で開催されました。

1. 活動報告

①「(仮称) 川越市森林公園」計画地定例活動 9:30～12:30
9/12（月）16 名参加　秋の植物調査、 9/26（月）10 名参加　「第 2 ふれあいの森」選択的除伐　　10/10（月）12 名参加　初雁高校方面調査・観察
②池辺公園定例活動 10/4（火）6 名参加　植物調査（県民参加モニタリング調査）
③寺尾調節池　生き物調査　9/21（水）9:00～12:00　4 名参加　土手はセイバンモロコシの群生、外来種の勢いが強い
④仙波河岸史跡公園生き物調査 9/28（水）9:00～12:00
⑤キノコ勉強会　10/3（月）「(仮称) 川越市森林公園」計画地　7 名参加
⑥公園整備課との話し合い　10/13（木）16:00～18:10　5 名出席　「(仮称) 川越市森林公園」計画地、仙波河岸史跡公園、池辺公園の管理について

2. 協議事項

①市主催イベント協力について
「市民生き物調査会」10/28（金）　ジョイフルと隣接の「(仮称) 川越市森林公園」計画地にて実施。準備と当日のフィールドワークなど協力態勢協議
「古谷湿地さかな観察会」11/6（日）　江遠島緑地にて実施。協力スタッフなど協議
②県民参加モニタリング調査中間報告会 10/24（月）参加について　2 名参加予定
③第 36 回「緑の都市賞」受賞関連
表彰式：11/11（金）　明治記念館　3 名出席
（自然環境部会代表　賀登環）

かわごえアジェンダ 21 推進委員会

10 月 12 日（水）17:30-19:30（仮称）かわごえアジェンダ21作成委員会第9回を開催しました。「望ましい環境像が実現したときの川越のようす」と「協働で取り組むべき 10 の重点プロジェクト」の見直しを行い、すべての項目についての見直しを終えました。具体的な審議結果に

ついては、http://wiki.kawagoekankyo.net をご覧ください。委員会の会合はいったん終了し、今後の対応を川越市と協議します。(委員長　小瀬博之)

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・後援行事

【トピック①】「第 15 回かわごえ環境フォーラム」環境活動報告の投稿・発表者募集

2017 年 2 月 25 日（土）9:30-12:00, 13:30-17:00 にウェスタ川越（午前：南公民館、午後：多目的ホール）において「第 15 回かわごえ環境フォーラム」を開催します。各々の環境活動と役割を相互に理解し、川越市の望ましい環境像実現のための取組がいっそう活発になることを期待して行事を開催します。例年実施しておりますが、フォーラム開催に先立ち、環境活動をされている個人・団体からの環境活動報告を広く募集します。みなさまの積極的な応募をお待ちしています。投稿・発表申込期限は 11 月 28 日（月）、レポート投稿期限は 12 月 19 日（月）です。募集要項は、会員のみなさまには 11 月号に同封します。かわごえ環境フォーラムホームページ（http://forum.kawagoekankyo.net）にも掲載しますのでご覧ください。

【トピック②・後援】「第 16 回北公民館かんきょう祭り 2016」11 月 12 日（土）開催

11 月 12 日（土）9:00-15:00 に北公民館（川越市氷川町 107）において「第 16 回北公民館かんきょう祭り 2016」が開催されます。祭りを通して参加者みんなで学び合う機会をつくり、市民の環境意識の向上を図るイベントです。今年のテーマは「変えよう！私たちの生活（くらし）～もったいない 無くそう 食品ロスを～」ということで、講演会・各種展示・発表・販売等があります。詳しくは北公民館（Tel.049-222-1400, Fax.049-229-1210）に問い合わせください。

【トピック③】エコドライブ推進活動　　社会環境部会

昨年に引き続き環境政策課と協働して、エコドライブシミュレーターを使用したふんわりアクセル、速度変動の少ない運転、早めのアクセルオフの効果を参加者に体験していただき、エコドライブ普及推進活動を実施します。
多くの方が参加し、地球にやさしい車の運転を身につけることを期待しています。
日時：11 月 20 日（日）9:30-16:00
場所：ウェスタ川越　交流広場
（「かわごえ産業フェスタ」会場内、川越市新宿町 1-17-17）

【トピック④】歳末まち美化活動参加者募集（12 月 23 日）

2003 年から始まった中心市街地の歳末まち美化活動、14 年目の今年も例年と同様に天皇誕生日である 12 月 23 日（金・祝）9:30-12:00 に実施します。9 時 30 分に本川越駅交番前に集合し、市内中心部を 6～9 コースに分かれてポイ捨てごみ拾いをして回り、11 時 30 分に中央公民館前でごみ分別を行った後、旧川越織物市場で有志差し入れの名物「太麺焼きそば」を食べながら歓談して解散します。

申込は 12 月 20 日までにお願いいたします。
申込先：　渡辺利衛　Fax.049-242-4322
　　菊地三生　080-5546-2362
　　E-mail：kikums@beige.ocn.ne.jp

本会会員の有無を問わず、多くの方のご参加をお待ちしております。　（菊地三生）

会合

●社会環境部会（2016 年 11 月度）
日時：11 月 11 日（金）13:00-15:00
場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

●自然環境部会（2016 年 11 月度）
日時：11 月 11 日（金）15:00-17:00
場所：福田ビル 3 階会議室
＊両部会とも会員はどなたでも参加できます。
＊両部会は、毎月第 2 金曜日 13:00-15:00, 15:00-17:00 連続開催（次回は 12 月 9 日（金）同所）

◆事業運営委員会（2016 年度第 8 回）
日時：11 月 30 日（水）13:00-14:30
場所：福田ビル 3 階会議室
＊次回は 12 月 21 日（水）13:00-14:30 川越市役所分室 3 階 B 会議室

◆理事会（2016 年度第 8 回）
日時：11 月 30 日（水）14:30-16:00
場所：福田ビル 3 階会議室
＊次回は 12 月 21 日（水）14:30-16:00 川越市役所分室 3 階 B 会議室

◆広報委員会（2016 年 12 月度）
日時：12 月 7 日（水）11:30-12:30
場所：ウェスタ川越 2 階市民活動・情報コーナー（川越市新宿町 1-17-17）
＊次回は 1 月 11 日（水）11:30-12:30 同所

自然環境部会主催事業

★「（仮称）川越市森林公園」計画地 植物調査・保全作業　（毎月第 2・4 月曜日）
日時：11 月 14・28 日、12 月 12・26 日(月)
集合：9:30 川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）
問い合わせ：賀登（049-234-9366）

★池辺公園定例活動
日時：　12 月 6 日（火）9:00-12:00
場所：池辺公園（川越市池辺 1302）
問い合わせ：菅野

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

川越市 環境部 環境政策課
問い合わせ（Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

◎くぬぎ山地区平地林保全管理活動
外来植物の除去など、平地林の手入れ作業
日時：12 月 18 日（日）10:00-15:00（9:30 受付開始）
集合場所：「くぬぎ山・駒ヶ原の森」の草地（所沢市大字下富 1456-1）
服装等：林内作業用（弁当、長袖、長ズボン、帽子、タオル、軍手、飲み物等）
申込先：くぬぎ山地区自然再生協議会事務局（Tel.048-830-3150）（埼玉県みどり自然課）
申込期限：12 月 14 日（水）

◎平成 28 年度苗木配布事業
①日時：11 月 19 日（土）11:00 から
　場所：ウェスタ川越
　　（かわごえ産業フェスタ会場内）
　配布本数：400 本
②日時：12 月 11 日（日）11:00 から
　場所：ウェスタ川越
　　（川越市健康まつり会場内）
　配布本数：200 本

苗木無料配布を実施いたします。この事業は、市民の緑化意識の向上と緑化の推進を図ることを目的として昭和 58 年より継続して行っており、これまでに配布した苗木は約 7 万 2 千本となっております。当日は、ヤマブキ・ウバメガシ・イチジクなどの苗木を無料で先着順に配布する予定です。
※イチジクについてはご家族につき 1 本の配布となります。

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

◎森林公園かんさつ会（当会主催）

①11 月 19 日（土）

紅葉と木の実、そして冬越しに訪れた野鳥を観察します。今回はカエデ園まで歩きます。

②12 月 9 日（金）・12 月 18 日（日）

年内最後のかんさつ会を開催します。越冬しに訪れた野鳥を探します。

（温かい服装でお出かけください）

集合時間・場所：10:20 国営武蔵丘陵森林公園（埼玉県比企郡滑川町山田 1920）南口休憩所集合解散、雨天決行。入園料要、参加費（200 円）、昼食持参（園内レストランもあります）、雨具持参

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

①11 月 12 日（土）9:30-12:30 ごろ

②12 月 10 日（土）9:30-12:30 ごろ

場所：明見院（今福 677）近く

内容：農作業（B 級品のお土産付き）

会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

2016 年度予定表

月	日	活動内容予定
11	12	里芋の収穫　芋煮会 （お椀、箸持参）
12	10	畑の片づけ
1	14	雑木林の手入れ
2	11	同上　焼き芋　豚汁
3	11	同上　あそぼうパン、スープ

みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 担当：佐藤（Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪　田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◆農作業（金曜日の午前中（10-12 時））

日時：11 月 18・25 日（金）

場所：地域交流センターに集合。農作業は近隣の田んぼです。

◆月例会

日時：11 月 11 日（金）10:00-12:00

場所：地域交流センターホール

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel..070-5599-2623）

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きものの賑わいを取り戻す活動を行っています。

◎マコモで正月飾りを作ろう！

日時：11 月 26 日（土）13:00-15:30

場所：川鶴公民館（川越市川鶴 2-8-3）

参加費：未定(500～1000 円を予定)

マコモの葉で正月飾りを作ります。参加申込は E-mail でお問い合わせください。

◎例会

無農薬の稲作りに興味のある方、生きものに興味のある方など、広く意見を求めるために会員でない方の参加も歓迎します

日時：11 月 26 日（土）16:00-18:00　　（マコモで正月飾り作り後の開催です。）
場所：川鶴公民館

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel＆Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 木曜日

日時：11 月 17 日（木）
　　：12 月 6 日（火）・15 日（木）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：11 月 13 日・12 月 11 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第 4 土曜日

日時：11 月 26 日（土）・12 月 24 日（土）
　　13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9 時より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田（090-2521-5770）へご連絡ください。

①11 月 27 日（日）9:00~11:00

「新河岸川広域景観づくり連絡会」との「流域一斉清掃活動」の一環として、中流から養老橋まで、広く堤防中心に清掃。自治会等の参加も歓迎。場所等参加希望者と調整して 11 月 15 日決定して通知。

②12 月 25 日（日）9:00~11:00

新河岸川下流部、新扇橋から川崎橋まで。参加者の希望で集合と解散場所 3 か所に。主力は旭橋右岸。事前連絡希望。

東洋大学小瀬研究室（こもれびの森・里山支援隊、ライトアッププロジェクトチーム）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: komorebisatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-239-1532）

定常的に参加していただける方、ご近所の方、大歓迎です。初めての方もぜひご参加ください。

◎こもれびの森・里山支援隊 森林整備施業

日時： 11 月 26 日・12 月 10 日・24 日（土）8:30 集合-12:00、12:45-15:00（解散 16:00）（荒天中止）
集合場所：東洋大学川越キャンパス 4 号館こもれびの道側入口（川越市鯨井 2100）
費用：無料
内容：手鋸、剪定鋏等を用いた小径木の下刈り、伐採、施業のための樹木調査など。
持ち物：汚れてもよい服装（長袖、長ズボン）、靴、手袋（軍手等）、手ぬぐい・バンダナ（ヘルメットの下に身に付けます）、タオル、飲み物、弁当など、あれば自前の道具（手鋸、剪定バサミ）
申込・問い合わせ：開催日 2 日前までにご連絡
＊開催案内ブログ：こもれびの森・里山支援隊（http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/）
＊中止の場合 Twitter で開催当日 6:30 ごろ通知（https://twitter.com/toyokomorebi/）
＊報告 Facebook（https://www.facebook.com/komorebisatoyama/）

◎小江戸川越ライトアップ 2016

期間：12 月 25 日（日）まで
場所：中央通り（福々スタンド、大黒屋食堂）、大正浪漫夢通り（真南風）、立門前通り（彩乃菓）

「あかりとの対話」のテーマで、あなたの行動に反応して光が変わるライトアップオブジェをまちなかに散りばめて設置します。

＊詳細は小江戸川越ライトアップ 2016（http://kawagoe-lightup.info）

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環（Tel. 049-234-9366）

◎小畔川魚類調査

日時：11 月 27 日（日）10:00-12:00

場所：八幡橋上流

網、ウェダーは貸し出します。気軽に参加ください。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

◎伊佐沼でバードウオッチング

（毎月第 2 日曜日）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋（小雨決行）

持ち物：筆記用具・あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物・帽子・防寒衣

参加費：一般 300 円、高校生以下 100 円（保険代・資料代）

解散：12:00 ごろ集合場所にて

①11 月 13 日（日）10:00-12:00

いよいよカモたちの季節になります。日本にやってきたばかり、今の時期は雄と雌また種類も、同じような羽の色をしているので見分けが難しいのです。それを見分けるのが、また楽しいのです。

②12 月 11 日（日）10:00-12:00

カモが勢ぞろいしました。7 種、8 種でしょうか？　ハマシギの群れが背を向けて飛んだかと思うと、誰の合図か、揃って白い腹側を見せて飛びます。見事な編隊飛行です。伊佐沼公園の林では冬の小鳥たちが待ってます。

第 7 回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉実行委員会

申し込み：埼玉県地球温暖化防止活動推進センター（Fax.048-749-1218, E-mail:goto@kannet-sai.org）

◎第 7 回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉

日時：12 月 10 日（土）10:00-16:30

場所：埼玉大学 全学講義棟 1 号館（さいたま市桜区下大久保 255）

＜つながろう　広がろう　エコの環＞を合言葉に、県内の市民団体で作る実行委員会主催、埼玉大学と埼玉県地球温暖化防止活動推進センター共催で第 7 回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉が開催されます。

午前の基調講演は埼玉大学大学院理工学研究科の浅枝隆教授の「自然災害、自然環境、その深いつながり、その中でわれわれはどうすべきか」と題した講演、昼は学生ポスターセッション、午後は次の 8 分科会が開かれ 16:30 終了予定で行われます。分科会は次のとおり。①遊ぼう！学ぼう！自然再生②さいたまの生物多様性のいまを考える③フードロスの削減に向けて④バイオマス利活用による地域分散型エネルギー⑤エシカルと身近になろう⑥2030 年に向けた家庭の省エネ。そのほか大学特別分科会で⑦大気汚染と PM2.5 を考える⑧未来遺産・見沼田んぼ地域から学ぶがあります。

詳細、申込書の入手等は認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉のページをご覧ください。

http://www.kannet-sai.org/about/activities/2016/1210.html

広報委員会からのおしらせ

●かわごえ環境ネット会員募集

かわごえ環境ネットでは、会員を随時募集しています。会員になると次のサービスを受けることができます。

1.月刊かわごえ環境ネット（毎月発行）、その他かわごえ環境ネットからのおしらせの郵送

2.イベント情報、会員情報の掲載（郵送添付、会員通信、ホームページ）
3.かわごえ環境ネットが主催する事業（ワークショップ、施設見学会、講演会、勉強会など）への出展や参加
4.総会、専門委員会への参加
年会費は個人会員 1,000 円､団体会員 2,000 円です。詳細は、かわごえ環境ネット事務局に問い合わせるか、Web サイト（http://kawagoekankyo.net、下の QR コード使用可）をご覧ください。

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2016 年 12 月号（No.122，11 月末～12 月上旬発行）の掲載原稿は、11 月 15 日（火）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要ですので、未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

●インターネットでの情報発信

1.本紙がカラーで見られます

本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。スマートフォンにも最適化されています。ご覧ください。（http://kawagoekankyo.net/news）

2.Twitter でかわごえ環境ネットをフォロー

かわごえ環境ネット Twitter（@kawagoekankyo）は､ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。https://twitter.com/kawagoekankyo

3.Facebook ページ「いいね！」してください

かわごえ環境ネットは、インターネットでも積極的に情報発信しています。ブログ、Twitter に続き、Facebook にもページがあります。かわごえ環境ネットからのお知らせだけでなく、メンバー間での情報共有にも活用できます。まずは Facebook に登録していなくてもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を。
https://www.facebook.com/kawagoekankyonet

●【速報】公益財団法人都市緑化機構第 36 回「緑の都市賞」緑の市民協働部門「奨励賞」をかわごえ環境ネット自然環境部会が受賞

（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全活動の活動が、第 36 回「緑の都市賞」緑の市民協働部門「奨励賞」を受賞しました。

緑の都市賞は、主催の公益財団法人都市緑化機構に書かれている目的を要約すると、明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進に個性的な施策に取組み、顕著な成果を上げている公共団体を顕彰し、緑豊かなまちづくりの普及と実現を目指すというものです。

緑の市民協働部門は､「ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するものとします。」

詳しくは 12 月号に掲載します。
https://urbangreen.or.jp/wp-content/uploads/2016/10/161017_PreeH28_Planshow_Toshishouw.pdf

●おことわり　本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（11 月 13 日～12 月 28 日）

日	月	火	水	木	金	土
11/13 ◎-12/25 小江戸川越ライトアップ ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	11/14 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	11/15 〇本紙 12 月号投稿期限	11/16	11/17 ◎13:30 まち美化啓発運動	11/18 ◎9:00 農作業（みなみかぜ）	11/19 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 ◎11:00 苗木配布事業①
11/20 ★10:00 エコドライブ推進活動	11/21	11/22	11/23 勤労感謝の日	11/24 文化の日	11/25 ◎9:00 農作業（みなみかぜ）	11/26 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森） ◎13:00 マコモで正月飾りを作ろう！ ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎16:00 例会（かわごえ里山イニシアチブ）
11/27 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎10:00 小畔川魚類調査	11/28 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業 〇かわごえ環境フォーラム投稿・発表申込期限	11/29	11/30 ◆13:00 事業運営委員会 ◆14:30 理事会	12/1	12/2	12/3
12/4	12/5	12/6 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	12/7 ◆11:30 広報委員会	12/8	12/9 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	12/10 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森） ◎9:30 おいしく楽しく農業体験 ◎10:00 低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉
12/11 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング ◎11:00 苗木配布事業②	12/12 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	12/13	12/14	12/15 ◎13:30 まち美化啓発運動 〇本紙 1 月号投稿期限	12/16	12/17
12/18 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	12/19 〇かわごえ環境フォーラム原稿投稿期限	12/20	12/21 ◆13:00 事業運営委員会 ◆14:30 理事会	12/22	12/23 ★9:30 歳末まち美化活動	12/24 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森） ◎13:30 まち美化啓発運動
12/25 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	12/26 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	12/27	12/28	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください		

月刊 かわごえ環境ネット 2016 年 11 月号 No.121

発行日　2016 年 11 月 10 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/